

宇工高だより

NO. 286
平成21年6月30日

発行 山口県立宇部工業高等学校
編集・発行 1学年

URL <http://www.ube-t.ysn21.jp> E-メール ube-t@ysn21.jp

期末テストまで後わずか、もうすぐ1学期も終わりです。1年生も学校に慣れ、学校行事、勉強、部活等、充実した毎日をご過ごしていると思います。中学校までと異なって、実習時間数や職業の意識付けに関する授業内容が増えたのではないのでしょうか。6月には工場見学がありました。これまでとはものの見方や考え方が変わった生徒も見られたように思います。

工場見学は、6月17日(水)に実施されました。各科の見学先は、
機械科1年 宇部興産(株) (アルミホイール工場)
電子機械科1年 宇部興産機械(株)
電気科1年 マツダ(株)防府工場、ブリヂストン(株)防府工場
化学工業科1年 宇部興産(株)内(宇部E&S(有)) でした。

生徒は、実際に工場働く人の姿や態度を見て、社会人としてのあり方の一部を垣間見たようです。また、工場の機械や見学全体を通して、様々な感想を持ったようです。2年後の進路について考える機会にもなったようです。以下、生徒の感想文の抜粋をもって工場見学の報告といたします。

機械科1年

宇部興産アルミホイール工場では、外観の美しいアルミホイールを生産していて、トヨタ自動車のアルミは、約7割が宇部興産アルミホイール工場で作られています。アルミホイールの生産拠点は、宇部の工場とカナダのサーニア工場の二箇所です。宇部アルミホイール工場では、実際に工場内を見学して仕事の難しさを感じました。現場では、ごくわずかの誤差でも製品として使用できないそうです。仕事では、正確に・迅速にということが求められるのではないかと思います。今回、初めて実際の作業現場を見学しましたが未熟な僕が職に就くには、まだまだ足りない部分が多いです。僕自身、今回の体験を通して変わらなければならないこと、身に付けなければならない技術等も見つかりました。高校3年間で、ものづくりをマスターして立派な社会人になりたいです。

宇部興産アルミホイール工場はとて大きくビックリしました。工場内では決められた仕事をずっとやっていました。僕だったら同じ仕事ばかりで少しいやだと思います。工場内ではロボットが常に動いていました。やっぱりここはすごいと思いました。ここで製造されるアルミのほとんどがトヨタの車用で僕の家にあるホンダ用は作っていませんでした。次に宇部興産アイプラザに行きました。歴代の社長の顔写真とか色々な展示がありました。僕はまだ機械のことについては、よく知りませんが卒業するときには一人前の人間になれるように頑張ってお勉強したいです。本当に勉強になりました。

電子機械科1年

まず最初に会社の広さに驚かされました。他にも工場内にある部品や機械の大きさと性能の良さや、従業員が700人いて、売り上げが約415億円あることに、とてもビックリしました。工場内の大半の機械はプログラムで操作していることと、溶接をしている人たちは、とても高い所に上がって作業をしていることに驚きました。みんなとても集中して作業をしていて、とてもかっこいいと思いました。自分はまだ将来の仕事を決めてないので、こういった工場見学などで仕事場の様子などを見て将来に役立てていきたいと思いました。

宇部興産機械の中を見学してみて、自分が全く知らない大きな機械など沢山があり、こんなのをどうやって動かすのだろうと思った。学校で使ったことのある旋盤も工場にあったものはかなり大きくてびっくりしました。他に興産大橋は全て興産機械の中で作ったという話が印象に残っている。工場見学に行くと僕もいつかはあのような機械を扱えるようになって、色々な物が作れるようになりたいと思った。

電気科1年

2つの工場見学をして感じたことは、どちらも、作業は大変で楽ではないということです。マツダでは、次から次へと流れてくる車に、ミスなくパーツを取り付け、安全に事故なく走れる車を作るというので、一人一人の責任は重大だと思いました。ブリヂストンでも同様に思いました。両方の会社は世界的企業なので会社の規模が大きく、色々な面で圧倒させられました。また、安全に注意していることが、会社内のあちらこちらに「安全」という言葉が書いてあって分かった。事故が起こると生産が止まるので、一人一人の注意と責任を実感した。今回の工場見学は、自分たちが会社を選ぶ時の判断材料になり、就職して働くということがいかに大変だということを感じることができた。

マツダは、小学校の時にいったことがあったけど、高校生になり、しかも工業高校ということもあり、ただ車を見るだけでなく、作業する人の様子や機械の動きなど、見方が変わった。実際に見て機械の重要性が分かりました。重い物や人間では大変な作業も全て機械がやっていて、日本の技術は発展していると感じた。ブリヂストンには初めて行ったけど普段何気なく見ているタイヤも、沢山の人が関わって出来ていることが分かった。

化学科1年

工場見学をして、説明の内容が難しく理解できませんでしたが、数年後は僕もこのような仕事場に就くと考えると、もっと勉強しなければならないと思いました。工場ではラクロクダムという物を作っていて、僕にはそれがどのような物なのかは分かりませんでした。しかし、工場で作っている物が僕たちには必要な物なので、将来は、自分も皆が必要としている物を作る仕事をしたいと思いました。工場見学を通じて僕たちが将来就く職場の様子が分かりました。

初めて聞く言葉が沢山でてきたのでよく分からなかった。でも宇部興産はどのような事をやっているか知ることができた。社員の方は色々な行事に参加していると聞いて身近に感じることができた。ショールームを見学して、宇部興産が関わって作っている物が想像以上に多く、身近に多いことに驚きました。また色々な機械があり、興味があるので就職先を決めるときの1つの参考になった。

7月の主な行事

7月2日(木)	～	7月8日(水)	期末考査(5日間)
7月8日(水)			頭髪服装検査
7月14日(火)	～	7月15日(水)	クラスマッチ
7月15日(水)午後	～	7月16日(木)	保護者個人面談
7月17日(金)			終業式
7月21日(火)	～	7月28日(火)	追指導(成績不振者)
7月29日(水)	～	7月30日(木)	追考査(成績不振者)